

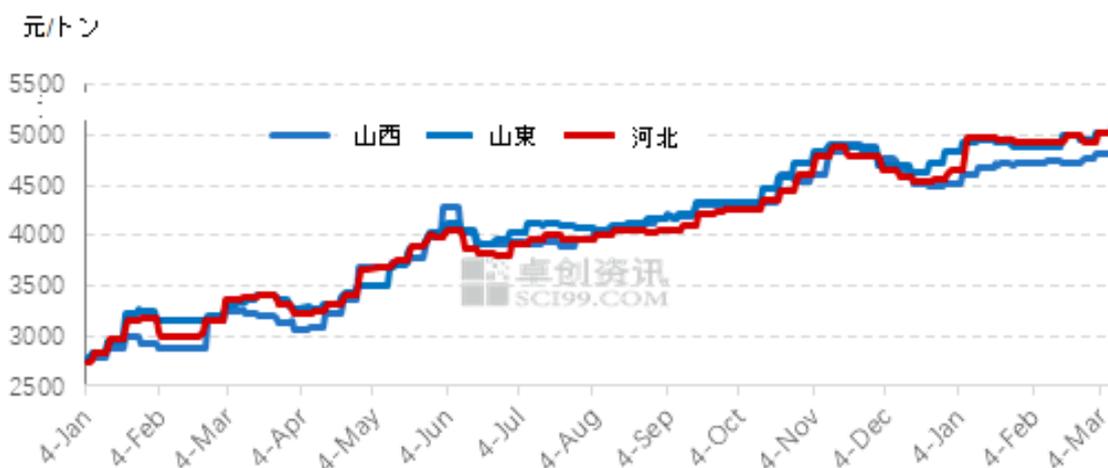
CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3,301

TEL : 045-717-8575 FAX: 045-717-8683

コールドタルの中国市場動向（2022年3月）

最近の中国コールドタル市場は供給量低下と需要量増加のため価格は上昇傾向にある。2021年3月から2022年3月現在までの高温コールドタルの価格推移を図1に示す。



出典：卓創資訊

図1 高温コールドタルの価格推移（2021年3月～2022年3月）

3月16日現在、各地域の高温コールドタル価格と対前月増減を表1に示す（1元＝18.7円で換算）。

表1 地域別高温コールドタルの価格と対前月増減（3月16日）

地域別	3月価格		2月初め価格		増減	
	元/トン	円/トン	元/トン	円/トン	元/トン	円/トン
山東省	5,116	95,669	4,886	91,368	△230	△4,301
河北省	5,150	96,305	4,870	91,069	△280	△5,236
山西省	4,905	91,724	4,668	87,292	△237	△4,432
江蘇省	5,230	97,801	5,050	94,435	△180	△3,366
安徽省	5,115	95,651	4,930	92,191	△185	△3,460
河南省	5,067	94,753	4,650	86,955	△417	△7,798

コールドタルから高付加価値製品を製造する企業の稼働率は小幅に上昇しているが、全体的には低いレベルにある。概略統計によると、現時点のコールドタルを利用する加工産業の

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3,301

TEL : 045-717-8575 FAX: 045-717-8683

設備稼働率は47%で、その生産能力は約1,144万トンである。そのうち、華北地区506万トン、華東地区257万トン、北西地区112万トン、華中地区102万トン、南西地区77万トン、東北地区55万トン、華南地区35万トンとなり、全体に占める割合を図2に示す。

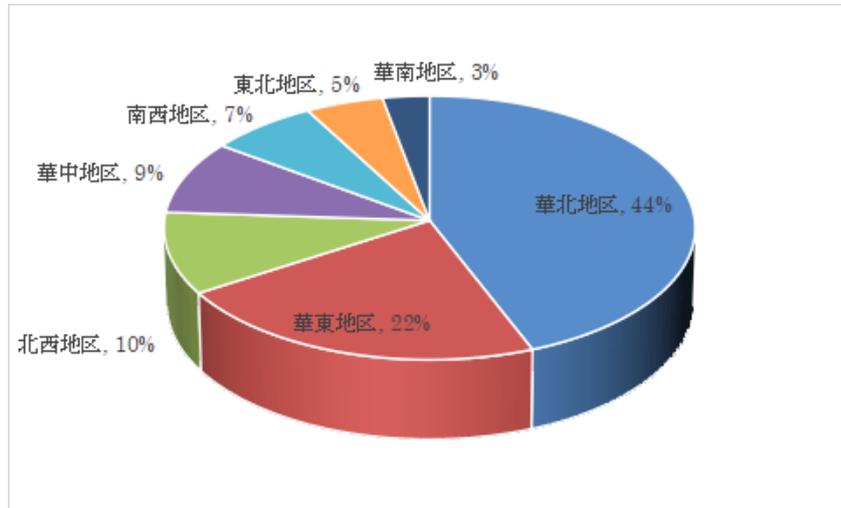


図2 地域別コールタール生産能力の比率

下流側では、タールピッチなどの市場価格は3月初旬から安定的に推移している。タールピッチの2021年1月から2022年3月の価格推移を図3に示す。

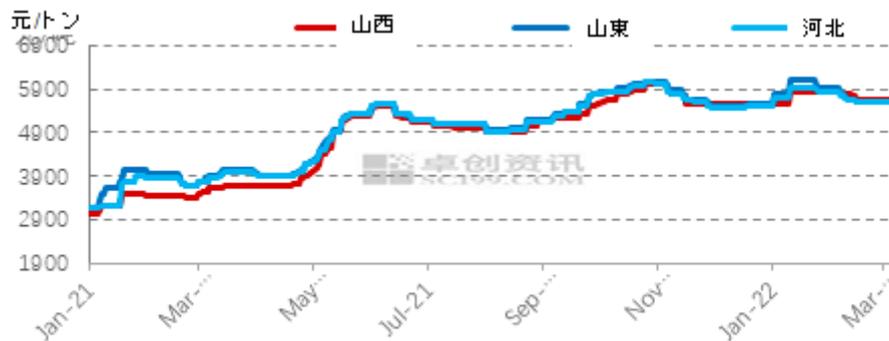


図3 タールピッチの価格推移 (2021年1月～2022年3月)

山東省、河南省の改質ピッチの3月18日現在の市場価格は凡そ5,800～6,000元/トン(10.8～11.2万円/トン)で、山西省、河北省は5,550～5,700元/トン(10.4～10.7万円/トン)だった。工業ナフタリンやカーボンブラックは価格が小幅に変動している。

短期的に見てコールタールを利用する加工企業はコロナの感染状況の落ち着きに伴って稼働率が回復しつつある。下流の需要増加に加え、コールタールの供給は需要に追いつかない恐れがあり、価格上昇の原因となるだろう。

情報源：卓創化工より整理、作成。